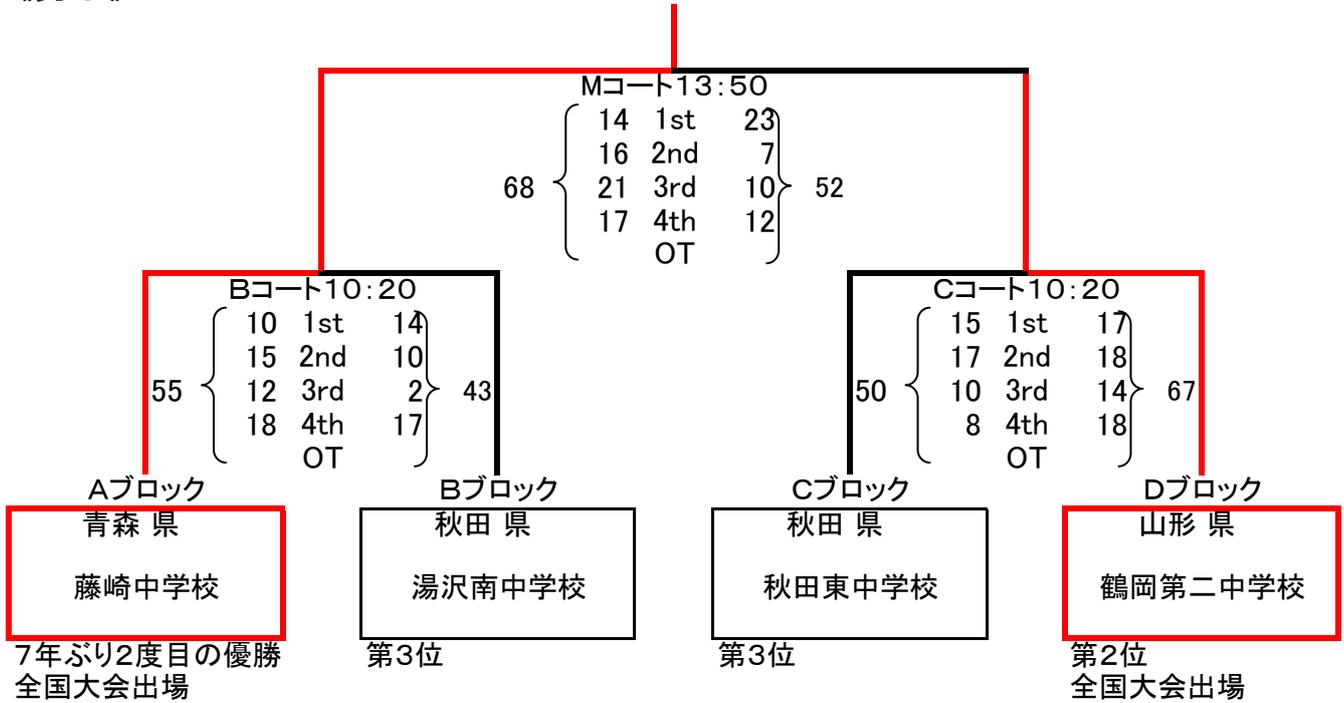


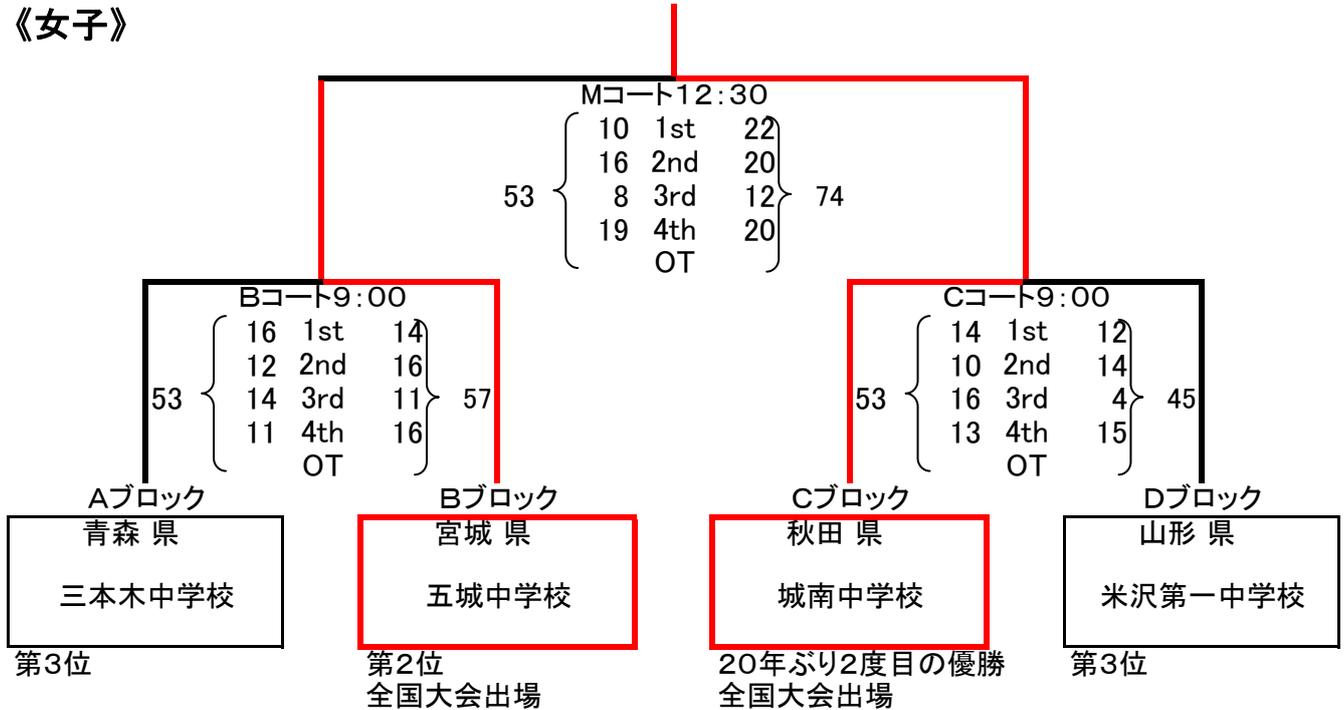
第46回 東北中学校バスケットボール大会 決勝トーナメント

平成28年8月10日(水)

《男子》



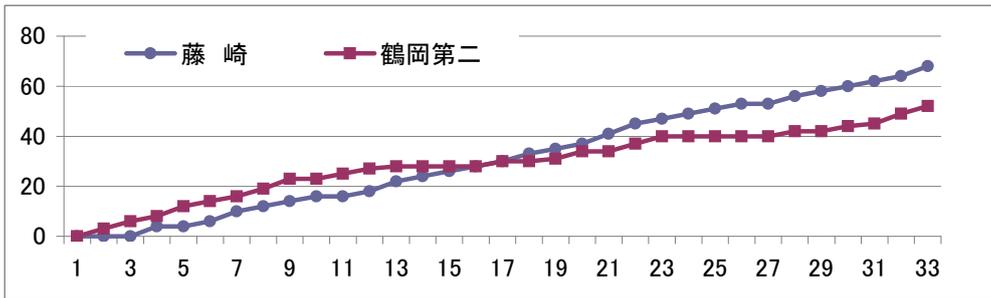
《女子》



第46回東北中学校バスケットボール大会 兼第46回全国中学校バスケットボール大会東北予選会

NO. 10M-2	Year	Month	Day	Time	場所 Place	セキスイハイムスーパーアリーナ
	2016	年	8月	10日		

男子決勝	チームA	チームB	主審:Referee
	藤崎 (青森1位)	鶴岡第二 (山形1位)	佐賀 雄幸 (宮城県)
	68	52	副審:Umpire
	○	●	澤野 卓朗 (青森県)
	14 1st 23 16 2nd 7 21 3rd 10 17 4th 12		工藤 央弥 (秋田県)
			テーブルオフィシャル:Table officials 仙台市立上杉山中学校



No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	x	木村 拓郎	19	0	9	1	2
5	x	神 魁 杜	32	0	16	0	0
6	x	福井 太一	4	0	1	2	1
7	x	角田 翔	7	1	2	0	1
8	/	阿部 浩志	0	0	0	0	0
9	/	山岡 慎乃亮	0	0	0	0	0
10		前田 翔志希	-	-	-	-	-
11	x	三上 凜	0	0	0	0	3
12		古舘 美輝	-	-	-	-	-
13	/	櫻田 龍空	6	1	1	1	3
14		成田 陸翔	-	-	-	-	-
15		葛西 孝哉	-	-	-	-	-
16		藤田 勇斗	-	-	-	-	-
17		長尾 侑真	-	-	-	-	-
18		三上 裕輔	-	-	-	-	-
監督		山形 紀雄	-	-	-	-	-
コーチ		芹川 芳逸	-	-	-	-	-
合計			68	2	29	4	10

No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	x	加藤 春樹	11	1	3	2	1
5	x	齋藤 周瑛	6	0	3	0	4
6	x	高田 星	6	0	3	0	2
7	x	加賀山 陸	14	2	1	6	2
8	x	松浦 享佑	10	1	3	1	2
9		牧 和敬	-	-	-	-	-
10	/	佐藤 雅大	5	1	1	0	0
11		高木 雄飛	-	-	-	-	-
12		三浦 颯人	-	-	-	-	-
13		坂尾 飛翔	-	-	-	-	-
14		伊藤 真央	-	-	-	-	-
15	/	今井 弘己	0	0	0	0	1
16		榎本 唯人	-	-	-	-	-
17		安田 拳心	-	-	-	-	-
18		渡部 日向吾	-	-	-	-	-
監督		佐藤 真悟	-	-	-	-	-
コーチ		村井 弘幸	-	-	-	-	-
合計			52	5	14	9	12

※x:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームハーフコートマンツーマンDefでスタート。開始直後、鶴岡第二#7のドライブがファウルを誘い、フリースローを決めて先制点を奪うと、#8のジャンプシュート、#4の3Pと立て続けに成功させ、6点リードした。藤崎は#5の連続得点で差を詰めにかかるが、23-14で鶴岡第二リードで1Qを終了した。

第2Q、鶴岡第二が連続得点したところで、藤崎がタイムアウト。その後、藤崎はDefではダブルチームに積極的に出るなどボールにプレッシャーをよく掛け、オフェンスの流れも良くなり始める。鶴岡第二は4点差に詰められたところでタイムアウト。その後、鶴岡第二#5が3つ目のファウルを犯し、ベンチに退く。この好機をつき、藤崎#5がミドルシュート沈め、ついに同点に追いつく。その後、互いに点を取り合い、30-30で第2Qを終了した。

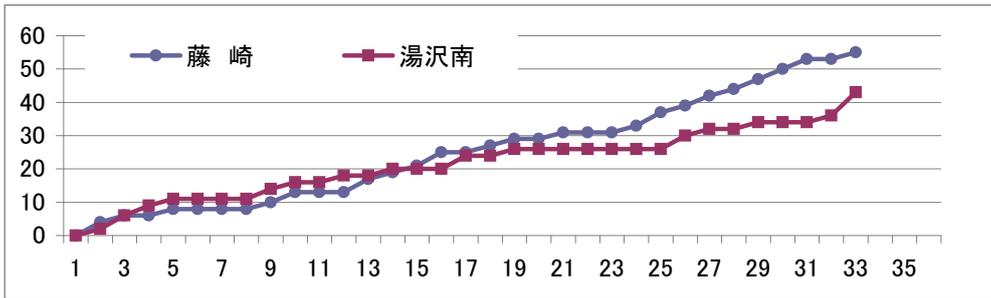
第3Q開始直後、藤崎の#4の力強いドライブがバスケットカウントとなり、ついに藤崎がこのゲーム初めてのリードを奪った。さらに藤崎は#4、#5の活躍により加点していく。41-34と7点差になったところで、鶴岡第二がたまたまタイムアウト。それでも流れは変わらず、藤崎は#13の3Pでさらに点差を広げた。対して鶴岡第二も#10が3Pを入れ返し、追いつがる。第3Q終了時には51-40で藤崎が11点リードした。

第4Q、藤崎#13が速攻を決め、点差を13点に広げた。藤崎の堅守が光り、鶴岡第二は苦しいロングシュートが多くなる。ゲームテンポを落とし、時間を使い始めた藤崎は、#4、#5がその後も得点を量産した。残り2分で鶴岡第二がタイムアウト。鶴岡第二はオールコートDefを展開し、ゲームテンポを上げて#7がシュートを決めるなど粘りを見せたが、最終的に68-52で藤崎が勝利した。東北大会の決勝戦にふさわしいハイレベルな戦いが会場を沸かせた。両チームに心からの拍手を送るとともに、全国大会での活躍を期待したい。

第46回東北中学校バスケットボール大会 兼第46回全国中学校バスケットボール大会東北予選会

NO. 10B-2	Year	Month	Day	Time	場所 Place	セキスイハイムスーパーアリーナ
	2016	年	8月	10日		

男子準決勝	チームA	55	○	10 1st 14 15 2nd 10 12 3rd 2 18 4th 17 OT	チームB	43	●	湯沢南 (秋田1位)	主審:Referee 佐藤光二 (宮城県)
	藤崎 (青森1位)								副審:Umpire 高橋和也 (宮城県)
									テーブルオフィシャル:Table officials 仙台市立南吉成中学校



No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	木村 拓郎	16	0	7	2	1
5	×	神 魁 杜 (C)	26	0	12	2	4
6	×	福井 太一	3	1	0	0	2
7	×	角田 翔	7	1	2	0	1
8	/	阿部 浩志	0	0	0	0	-
9	/	山岡 慎乃亮	0	0	0	0	1
10		前田 翔志希	-	-	-	-	-
11	×	三上 凜	3	1	0	0	2
12		古舘 美輝	-	-	-	-	-
13	/	櫻田 龍空	0	0	0	0	-
14		成田 陸翔	-	-	-	-	-
15		葛西 孝哉	-	-	-	-	-
16		藤田 勇斗	-	-	-	-	-
17		長尾 侑真	-	-	-	-	-
18		三上 裕輔	-	-	-	-	-
監督		山形 紀雄	-	-	-	-	-
コーチ		芹川 芳逸	-	-	-	-	-
合計			55	3	21	4	11

No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	千葉 隼人 (C)	2	0	1	0	-
5	×	遠田 剣之介	12	2	3	0	3
6	×	高橋 岳人	13	1	5	0	3
7	×	佐藤 拓未	8	0	4	0	5
8	/	高橋 雄大	0	0	0	0	1
9	×	高橋 弘仁	8	0	3	2	4
10		麻生 駿一郎	-	-	-	-	-
11		高橋 颯	-	-	-	-	-
12		高橋 竜晴	-	-	-	-	-
13		奥山 郁耶	-	-	-	-	-
14		柿崎 聖也	-	-	-	-	-
15		小原 海斗	-	-	-	-	-
16		古川 裕都	-	-	-	-	-
17		菅 祐麻	-	-	-	-	-
18		佐藤 駿輔	-	-	-	-	-
監督		高橋 一枝	-	-	-	-	-
コーチ		土田 展久	-	-	-	-	-
合計			43	3	16	2	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

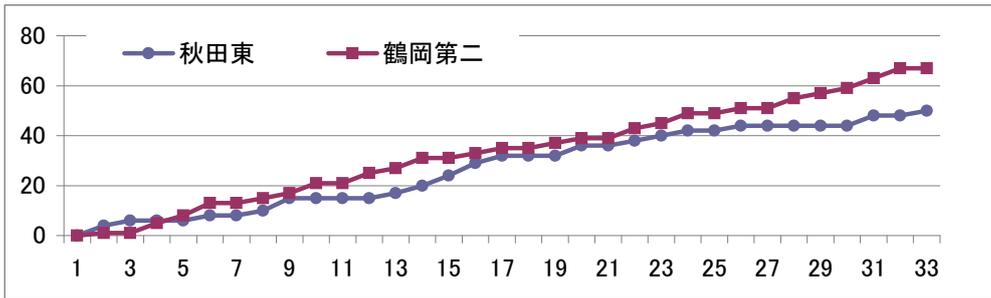
全国大会をかけた一戦。両チームハーフコートマンツーマンでスタート。藤崎は#4、#5、湯沢南は#6、#7を中心にオフェンスを展開する。藤崎は速い展開で仕掛けるがシュートが決まらず勢いに乗れない。一方、湯沢南は厳しいディフェンスからの速攻で点を重ね14-10と湯沢南リードで第1Q終了。
 第2Q、オフェンスリバウンドが取れず苦しむ藤崎だが、湯沢南もミスが続く、開始2分でタイムアウト。その後、湯沢南はカットインプレーから得点を重ね、リードを守ろうとするが、藤崎#4のドライブ、#5もそれに続けて得点し、ついに逆転。一時は、5点差まで引き離すが、湯沢南は#4のジャンプシュート、#7のブザービーターで追いつき、点差を1点差まで詰めたところで前半終了。
 第3Q、出だしに藤崎#4がバスケットカウントを決める。湯沢南もオフェンスリバウンドで粘りを見せるもシュートが決まらず、逆に走られ失点、徐々にゲームの流れは藤崎に傾いていく。この第3Qで藤崎は37-26と点差を11点まで広げることに成功した。
 第4Q、藤崎#7が連続得点すると、たまたま湯沢南はタイムアウト。その後、湯沢南はオールコートマンツーマンで仕掛け、速い展開で攻めるがシュートが決まらない。一方、藤崎は落ち着いてボールを回し、得点を着実に重ねていく。それでも、湯沢南は、最後までチーム一丸となってあきらめずにボールを追いかけ続けた。試合は最後まで落ち着いて攻めた藤崎が55-43で勝利した。両チーム、ボールへの執着心を見せて戦い続けた、素晴らしい試合だった。

文責【 七尾未来 】
宮城県中学校体育連盟 バスケットボール専門部

第46回東北中学校バスケットボール大会 兼第46回全国中学校バスケットボール大会東北予選会

NO.	10c-2	Year	Month	Day	Time	場所 Place	セキスイハイムスーパーアリーナ
		2016	年	8月	10日		

男子準決勝	チームA	秋田東 (秋田2位)	50	15 1st 17 17 2nd 18 10 3rd 14 8 4th 18	チームB	鶴岡第二 (山形1位)	67	主審:Referee 堀内 昌浩 (宮城県) 副審:Umpire 藤田 公平 (青森県) テーブルオフィシャル:Table officials 仙台市立高砂中学校
			●				○	



No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	伊 東 翼 (C)	27	1	12	0	1
5	/	土 橋 広 聖	0	0	0	0	1
6		森 田 純 平	-	-	-	-	-
7	×	菅 原 悠 平	1	0	0	1	1
8	×	新 林 海 都	2	0	1	0	4
9		和 田 進 太 郎	-	-	-	-	-
10		花 方 隆 真	-	-	-	-	-
11	×	中 山 玄 己	14	0	7	0	2
12	×	川 辺 武 貴	6	0	2	2	3
13		杉 本 虎 太 郎	-	-	-	-	-
14		嵯 峨 大 雅	-	-	-	-	-
15		豊 島 創 太	-	-	-	-	-
16		柳 谷 終 平	-	-	-	-	-
17		永 井 豪	-	-	-	-	-
18		梅 津 光 一 郎	-	-	-	-	-
監督		赤 松 義 則	-	-	-	-	-
コーチ		福 山 健 太	-	-	-	-	-
合計			50	1	22	3	12

No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	加 藤 春 樹 (C)	8	0	4	0	0
5	×	齋 藤 周 瑛	22	0	10	2	3
6	×	高 田 星	22	0	11	0	2
7	×	加 賀 山 陸	8	1	2	1	3
8	×	松 浦 享 佑	7	0	3	1	2
9	/	牧 和 敬	0	0	0	0	0
10	/	佐 藤 雅 大	0	0	0	0	0
11		高 木 雄 飛	-	-	-	-	-
12		三 浦 颯 人	-	-	-	-	-
13		坂 尾 飛 翔	-	-	-	-	-
14		伊 藤 真 央	-	-	-	-	-
15		今 井 弘 己	-	-	-	-	-
16		榎 本 唯 人	-	-	-	-	-
17		安 田 拳 心	-	-	-	-	-
18		渡 部 日 向 吾	-	-	-	-	-
監督		佐 藤 真 悟	-	-	-	-	-
コーチ		村 井 弘 幸	-	-	-	-	-
合計			67	1	30	4	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

東北大会準決勝、秋田東対鶴岡第二の戦い。第1Qは両チームともハーフコートマンツーマンDefを展開。序盤は秋田東がスクリーンと巧みなパス回しから一挙6得点をあげる。一方、鶴岡第二はスティールからの速攻や#7のアウトサイドシュートですぐさま逆転。その後は、秋田東が#4、#11を中心に得点を重ねる中、鶴岡第二はドライブやインサイド等、多様な攻撃を仕掛け、17-15と鶴岡第二リードで第1Qを終了した。

第2Qの立ち上がり、鶴岡第二は、#5、#6のインサイドやリバウンドからの速攻で攻め立てる。秋田東は選手交代やタイムアウトで流れを変えようと試みるが、鶴岡第二の猛攻は止まらず、最大12点差まで広がる。秋田東の攻撃の要となっていた#4は鶴岡第二の#4に徹底的にマークされ、24秒ヴァイオレーションが連続してしまう。ところが、秋田東#12のバスケットカウントから流れが変わる。セカンドリバウンドの粘りから得点を重ね、5点差まで詰め寄ったところで鶴岡第二がタイムアウト。その後は両チーム一歩も譲らぬ攻防が続き、前半を35-32鶴岡第二の3点リードで折り返す。

第3Q、鶴岡第二は引き続きインサイドにボールを集め、#5を中心に着実に点数を重ねていく。秋田東は積極的にダブルチームを仕掛け、鶴岡第二にプレッシャーをかける。何度かスティールする場面も見られたが、鶴岡第二の速い戻りに速攻を阻まれる。秋田東#4がシュートをねじ込み反撃するが、49-42と鶴岡第二リードのまま第3Qが終了する。

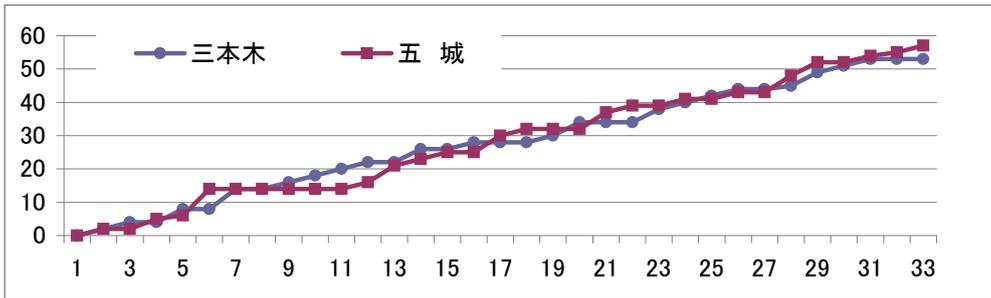
第4Q、点差を詰めたい秋田東は#4を中心に得点を狙うが、外からのシュートが思うように決まらない。対する鶴岡第二は秋田東の激しいDefに冷静に対応し、インサイドを中心に落ち着いて得点していく。残り3分、15点差まで広がったところで秋田東がタイムアウト。その後、オールコートマンツーマンプレスを仕掛けるが、点差は縮まらない。そのまま67-50で鶴岡第二が勝利した。鶴岡第二の冷静な試合展開と、秋田東のレベルの高い個人技が光った好ゲームだった。両チームの健闘に拍手を送りたい。

文責【 大塚 諒 】
宮城県中学校体育連盟 バスケットボール専門部

第46回東北中学校バスケットボール大会 兼第46回全国中学校バスケットボール大会東北予選会

NO. 10B-1	Year	Month	Day	Time	場所 Place	セキスイハイムスーパーアリーナ
	2016	年	8月	10日		

女子準決勝	チームA	三本木 (青森2位)	53	16 1st 14 12 2nd 16 14 3rd 11 11 4th 16	チームB	五城 (宮城1位)	57	主審:Referee 平林 達哉 (福島県) 副審:Umpire 佐藤 知穂 (山形県) テーブルオフィシャル:Table officials 仙台市立台原中学校
			●			○		



No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	豊巻 若葉 (C)	14	0	5	4	2
5	×	小笠原 佳澄	6	0	3	0	0
6	×	石川 樺菜	8	0	3	2	4
7		小山田 淑乃	-	-	-	-	-
8		角浜 ゆい	-	-	-	-	-
9		今泉 愛華	-	-	-	-	-
10		宮沢 貴美	-	-	-	-	-
11		清川 怜那	-	-	-	-	-
12		漆畑 杏花	-	-	-	-	-
13		音坂 莉香	-	-	-	-	-
14		赤坂 和香	-	-	-	-	-
15	×	泉 日彩	17	0	8	1	1
16		漆畑 そら	-	-	-	-	-
17		白銀 未悠	-	-	-	-	-
18	×	渡辺 朋恵	8	0	4	0	0
監督		泉 順					-
コーチ		伊藤 明彦					-
合計			53	0	23	7	7

No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	小野寺 璃珠 (C)	18	0	9	0	3
5	×	高荒 業那	5	0	2	1	0
6	×	相原 ゆい	15	2	4	1	3
7	×	門奈 保花	19	4	3	1	3
8		津田 麻佑子	-	-	-	-	-
9		本郷 寧香	-	-	-	-	-
10		二木 梨花	-	-	-	-	-
11	×	小野寺 璃湖	0	0	0	0	3
12		尾形 琴星	-	-	-	-	-
13		河鱈 美虹	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
監督		菅野 貴久江					-
コーチ		遠藤 ゆかり					-
合計			57	6	18	3	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、三本木が積極的にドライブや、ディフェンスの裏をつく動きで得点する。対して五城は#6が3Pを決め、そこからディフェンスの動きも良くなる。更にパスカットからの#7の速攻、3Pが決まり、流れをつかもうとするも、三本木もスティールからレイアップを決め、互いに譲らない展開。16対14の三本木リードで第1Qを終える。

第2Q、三本木#4の粘り強いリバウンドや#5のドライブで得点し、ディフェンスにも勢いが増し、突き放しにかかる。しかし、五城#4がドライブを2連続で決め、相手の良い流れを阻止する。残り30秒で五城の#5のドライブや#4がシュートをねじ込み、30対28の五城リードで前半終了。

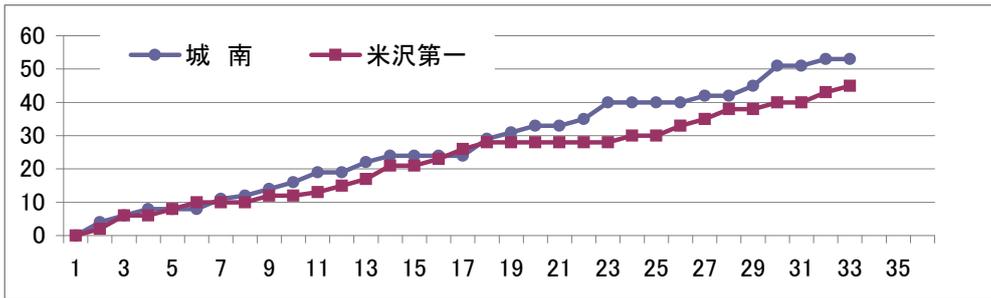
第3Q、五城は#4、#6の1対1やディフェンスリバウンドからの速攻、三本木は#15、#4のインサイドを中心に得点。お互いに流れを渡さない状態のまま、42対41の三本木リードで第3Qを終える。

第4Q序盤、五城は#4のインサイドからの得点で逆転に成功。立て続けに#7の3Pで流れが五城に傾く。その後、両者拮抗した状態が続く中、三本木がタイムアウト。ディフェンスをオールコートマンツーマンに変え勝負をかける。しかし、五城は三本木の強烈なプレスをかいくぐり、落ち着いて得点を決め、57対53で五城が初の全国大会出場を決めた。全国大会を懸け、最後まで互いに譲らない素晴らしいゲームとなった。両チームの健闘を称えたい。

第46回東北中学校バスケットボール大会 兼第46回全国中学校バスケットボール大会東北予選会

NO. 10c-1	Year	Month	Day	Time	場所 Place	セキスイハイムスーパーアリーナ
	2016	年	8月	10日		

女子準決勝	チームA	城南 (秋田1位)	53	○	チームB	米沢第一 (山形1位)	45	●	主審:Referee 五十嵐 清隆 (福島県)
									副審:Umpire 松本 彩織 (岩手県)
									テーブルオフィシャル:Table officials 仙台市立長町中学校



No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	x	齊藤 可怜 (C)	4	0	2	0	5
5	x	浅利 千	26	4	6	2	4
6	x	長谷川 美加	11	0	5	1	0
7		加藤 里菜	-	-	-	-	-
8		小田原 芹梨花	-	-	-	-	-
9		沢木 真紘	-	-	-	-	-
10		寺田 風香	-	-	-	-	-
11	/	長谷川 葵	0	0	0	0	1
12	x	工藤 ひとみ	0	0	0	0	0
13	x	木村 美麗	12	1	4	1	2
14		松田 春佳	-	-	-	-	-
15		櫻井 茉紘	-	-	-	-	-
16		工藤 そら	-	-	-	-	-
17		佐々木 星來	-	-	-	-	-
18		太神 姫花	-	-	-	-	-
監督		大塚 祐介	-	-	-	-	-
コーチ		佐藤 匡	-	-	-	-	-
合計			53	5	17	4	12

No.	PI-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	x	五十嵐 麗花 (C)	9	0	4	1	3
5	x	林 佑里香	3	1	0	0	2
6	x	伊藤 聖奈	13	0	5	3	1
7	x	鎌水 理子	12	1	4	1	2
8	/	遠藤 理子	0	0	0	0	0
9		山村 胡都美	-	-	-	-	-
10	x	遠藤 凧紗	8	0	4	0	1
11	/	佐竹 凜音	0	0	0	0	1
12		穴戸 愛唯	-	-	-	-	-
13		皆川 愛奈	-	-	-	-	-
14		岩間 来夢	-	-	-	-	-
15		井上 茉奈恵	-	-	-	-	-
16		若月 香苗	-	-	-	-	-
17		須藤 想亜	-	-	-	-	-
18		中村 さくら	-	-	-	-	-
監督		本橋 沙織	-	-	-	-	-
コーチ		島貫 祐樹	-	-	-	-	-
合計			45	2	17	5	10

※x:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

全国大会出場が決まるプレッシャーの中、両チームともハーフコートマンツーマンDefで試合に入る。城南はインサイドの#6にボールを集めシュートをねらうが、米沢第一のディフェンスがインサイドでの得点を許さない。しかし城南はインサイドで得点できない分、速攻や#4、13のドライブで得点を重ねていく。対する米沢第一は#4、10のミドルシュート、#6のドライブで応戦。両チームとも、ミスを恐れない積極的なプレイが続き、14-12で城南がリードして第1Q終了。

第2Q開始早々、城南#6がリバウンドシュート、#5が3Pを2本決める。しかし、ディフェンスでファウルがかさみ始め、なかなか流れにのれない。一方、米沢第一は#6、7のドライブ、#10のミドルシュートで得点を重ね、逆転に成功。僅差ではあるが26-24の米沢第一リードで前半終了。

第3Q、米沢第一は#6が開始すぐにドライブで得点するも、城南のディフェンスがそれ以降の得点を許さず、そのまま5分間ノーゴールでこのクォーターは4点のみで終わる。一方城南は#13の3Pをきっかけにゲームの主導権を握り、それ以降#5のインターセプトからの速攻、ミドルシュートで得点を重ね、40-30で城南が再びリードして終了。

第4Q、点差をすぐにでも縮めたい米沢第一は#7、#5の3P、#6のドライブで加点。更にオールコートでのアグレッシブなディフェンスから城南のミスを誘い、じわじわと点差を詰めていく。ここで城南#4がファウルアウト。一気にたたみかけたい米沢第一に対し、城南#5が連続3P、ドライブ、バスケットカウントを決め、米沢第一の猛追を退ける。最終的には、第3Qでのリードを保ったまま、53-45で城南が決勝戦へ駒を進めた。

全国大会への切符をかけて、最後の1秒まで諦めずに粘り強く戦った両チームの健闘をたたえたい。

文責【 鈴木 孝徳 】
宮城県中学校体育連盟 バスケットボール専門部